

海岸用語集（五十音順）

一般公共海岸（いっばんこうきょうかいがん）

海岸保全区域以外の公共海岸。

公共海岸

国または地方公共団体が所有する公共の用に供されている海岸の土地、及びこれと一体として管理を行う必要があるとして知事が指定、公示した水面（海面）。

越波（えっぱ）

堤防や護岸の高さが波の打上げ高に比べ低いとき、打上げられた海水が陸側に侵入する現象。

越流（えつりゅう）

低気圧や台風通過などにより海水面が堤防や護岸の高さより高くなり、堤防や護岸を越えて海水が陸側に侵入する現象。

海岸保全区域（かいがんほぜんくいき）

公共海岸の内、海水または地盤の変動による被害から海岸を防護するため、海岸保全施設の設置その他の管理を行う必要があると認められる時に知事が指定する防護すべき海岸の一定の区域。

海岸保全施設（かいがんほぜんしせつ）

海水の侵入または海水による侵食を防ぐための施設で、堤防、護岸、消波工、突堤、離岸堤、潜堤（人工リーフ）などの種類がある。

堤防（ていぼう）

現地盤を盛土またはコンクリートなどによって高さを増し、越波・越流、高潮等による海水の侵入または海水による侵食を防ぐための施設。

護岸（ごがん）

現地盤をコンクリートやコンクリートブロックで保護し、越波・越流、高潮等による海水の侵入または海水による侵食を防ぐための施設。



消波工（しょうはこう）

波の勢いを弱め越波を減少させたり、堤防や護岸を保護する目的で設置するコンクリートブロック構造物。波打ち際や堤防・護岸の前面に設置する。



突堤（とつてい）

沿岸漂砂（海岸線に平行な砂移動）を抑制することにより汀線の維持または前進を図る施設。海岸から細長く突き出して設置する。



離岸堤（りがんてい）

海岸線から離れた沖側に海岸線とほぼ平行に設置され、構造物上部が海面上に出ている施設。波の勢いを弱めて越波を減少させたり、砂浜の侵食を防ぐために設置する。



潜堤 [人工リーフ]（せんてい [じんこうリーフ]）

海岸線から離れた沖側に海岸線とほぼ平行に設置され、構造物上部が海面下に没して見えない施設。上部の幅を広く取り、波の勢いを弱めて越波を減少させたり、砂浜の侵食を防ぐなど離岸堤と同様の効果を発揮する。



受益地域（じゅえきちいき）

海岸保全施設を設置することにより越波や侵食の被害から防護される地域。

侵食（しんしょく）

波浪により海岸砂浜の砂が流れ去り欠ける現象。または、流出する砂の量が流入する量を上回り、汀線が全体に陸側に後退する現象。

高潮（たかしお）

低気圧により海面が吸い上げられたり、強風により海面（海水）が吹き寄せられたりすることにより、湾内の海面が異常に上昇すること。

汀線（ていせん）

陸（浜あるいは岸）と海水面が交わる線。波打ち際の線。

漂砂（ひょうさ）

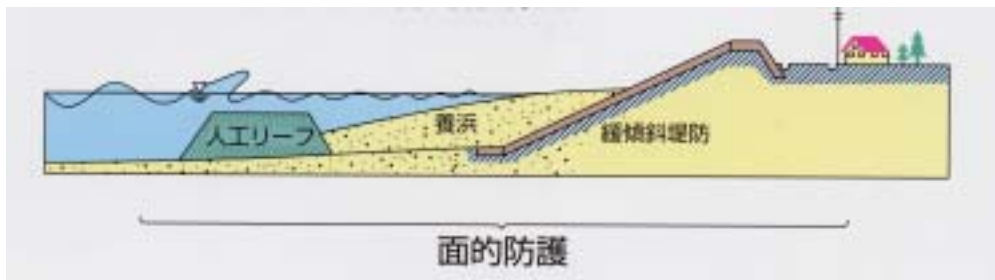
波浪、潮流等によって動く砂。また、その移動現象。河口や港内に砂を堆積させたり、海岸侵食を起こす。

ポケットビーチ

海岸線の両端を岬状地形で囲まれた砂浜海岸。比較的延長が短い。

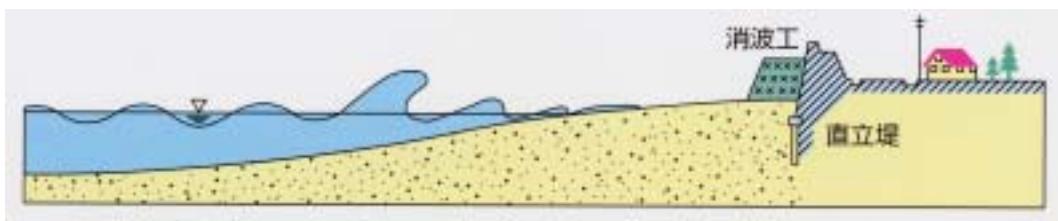
面的防護方式（めんてきぼうごほうしき）

潜堤、養浜、堤防など複数の海岸保全施設（手段）の組み合わせにより海岸防護を図る手法。



線的防護方式（せんてきぼうごほうしき）

単独の施設のみで海岸防護を図る手法。



藻場（もば）

沿岸浅海域で海藻類が繁茂する場所。水生生物の繁殖場所などとして重要である。

養浜（ようひん）

海岸に人工的に砂を供給し砂浜を形成すること。

サンドバイパス

一連の海岸内で、砂の堆積箇所から侵食箇所に対し定期的に人工的砂移送を行い、海岸全体の汀線維持、安定を図る手法。養浜の一種。